



～富士宮市立中央図書館 特別ブックガイド～



図書館司書のおすすめ本

中央図書館の司書が、皆さんにとっておきの一冊をご紹介します！

いろいろな本が集まりました。お気に入りの一冊と出会うヒントになれば嬉しいです。

※都合により、一部の図書については書影(表紙画像)を掲載しておりません。ご了承ください。

一般小説

『本日は大安なり』 辻村深月／著 講談社

本日は
大安なり

人生の大イベント「結婚式」。ある老舗ホテルではその日、4組の結婚式が予定されていますが、どうやらみんな「ワケあり」。時系列で進んでいくそれぞれの物語が、結末へ向かって交差していきます。
視点人物の一人に小学生がいるのですが、彼の奮闘は思わず応援したくなってしまいます。(選んだ司書：彩)

一般教養

『猫が30歳まで生きる日

ー治せなかった病気に打ち克つタンパク質「AIM」の発見ー』 宮崎徹／著 時事通信出版局

猫が
30歳まで
生きる日

「治せない病気を治したい」と基礎医学の道を歩む著者が偶然見つけた「AIM」。血液中にたくさん存在するタンパク質だが、猫にだけ機能していなかった…！地道に続けた AIM の研究が、数多の猫を苦しめる腎臓病と結びつくまでの過程は必見。猫も人も、もっと長生きできるのではないか。最新医療の可能性が見える興味深い一冊です。(選んだ司書：ごんべえ)

児童小説

『クマのプーさん プー横丁にたった家』 A.A.ミルン／作 石井桃子／訳 岩波書店



世界中で知らない人はいないほど有名なプーさん。
原作を読んだことがありますか？テレビや映画では見ることでできない世界が本当であって、本当にプーと出会うことができます！子どもはもちろん、いくつになっても、クリストファー・ロビンのようにプーやコブタ、トラーの仲間になれます。「何かかんか大事なもの」が見つかるかもしれませんよ。
(選んだ司書：ぽによ)

一般エッセイ

『わかりやすさの罪』 武田砂鉄／著 朝日新聞出版

わかり
やすさの
罪

「5分でわかる動画」「3分で泣ける話」「1分で伝える技術」…。わかりやすく手短かにまとめられた情報源、便利ですよ。でも、例えばあなたの仕事の価値は、世の中の仕組みは、人間の思考は、本当に誰もが簡単に「わかる」ものなのでしょうか？5分どころか永遠に「わからない」問題と向き合う糧となる一冊。(選んだ司書：TKS)

一般小説



『野菊の墓 他4篇』 伊藤左千夫／作 岩波書店

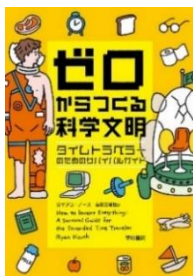
初々しくて、清らかで、切ないラブストーリー。結婚する相手が年上の女性というのが嫌われる、当時の社会を如実に書き出している作品。

「民さんは野菊のような人だ。」 「政夫さんは野菊が好きだって・・・」

「僕大好きさ。」 こんな素朴なラブコール、いいですね。

心をピュアに戻したい時に最適。 (選んだ司書：★)

一般教養



『ゼロからつくる科学文明 -タイムトラベラーのためのサバイバルガイド-』

ライアン・ノース／著 吉田三知世／訳 早川書房

大昔に取り残されたタイムトラベラーに向けて、ゼロから文明を再構築する方法をガイドする、ユーモア溢れる科学雑学本です。言葉に始まりコンピュータに至るまで、あらゆるものの発明方法を、面白おかしくもまじめに紹介しています。身の回りのものや科学技術がどのように生み出されてきたのかを、楽しみながら知ることができます。 (選んだ司書：ガラシャ)

児童郷土

遠い
海まで
照らせ!

『遠い海までてらせ! -日本で最初の女性灯台守・萩原すげ物語-』

青木雅子／作 高田勲／絵 星雲社

大正3年、稲取灯台が完成。その初代灯台守は、萩原すげという女性でした。資格取得までの過酷な道のり、灯台守と茶屋の仕事、子育て、震災、戦争…。波乱に富んだ人生を生きぬいた女性の物語です。幼少期に柚野で暮らしていた様子もあり、富士・富士宮地域に住む私達にとっても親しみを感じる1冊です。 (選んだ司書：RK)

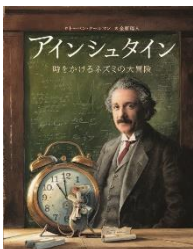
一般エッセイ



『三十代の初体験』 羽田圭介／著 主婦と生活社

ご存知、芥川賞作家! 「羽田圭介」さんが未知の分野に挑む体当たりエッセイ。自分が新しいことをはじめるとなれば…と気軽に手に取り爆笑(^o^)
小説とは全く違う芥川賞作家の姿が身近に感じられますが、作家がエッセイを書ける時期は限られていると感じたらしく、羽田さんのエッセイが今後あまり読めないと思うととても残念です。 (選んだ司書：TKG)

児童小説



『アインシュタイン 時をかけるネズミの大冒険』

トーベン・クールマン／著 金原瑞人／訳 ブロンズ新社

大好きなチーズのために時をも越えようと四苦八苦する姿が健気でとてつもなく可愛い! 可愛いだけではなく、何かのために一生懸命になる心を励まされ刺激もされる一冊。現在何かを成そうと頑張っている方、なにかを諦めてしまった経験がある方、ただただかわいいネズミが好きな方にもおすすめです。 (選んだ司書：匿名希望)

児童教養



『好奇心の部屋 デロール』 今森光彦／文・写真 福音館書店

パリの裏通りにあるお店「デロール」。1831年にできた、はく製や標本を扱うお店です。日本では博物館でしか見られないようなものが、パリでは手に取りながら堪能できるのです。この本では、そんな空間をおすそわけ。ページをめくるたびにデロールの魅力にとりつかれてしまいます。(選んだ司書：お糸)

一般小説

『アンデルセン童話集 -完訳-』(全7巻) アンデルセン/著 大畑末吉/訳 岩波書店



「今更何故アンデルセン？」と首をひねった大人の皆さま、大人になって読むアンデルセンは、なかなかビターな味わいです。幼いあの日には思いもよらなかった、物語の裏に隠された人生のほろにがさ…。味わう事ができるのはまさに今！酸いも甘いも噛み分けた大人の皆さまにぜひ読んで頂きたい作品です。 (選んだ司書：のっぽさん)

児童教養

『みんなで学ぼう 17 のゴールイラストブック SDGs』

ルイズ・スピルズベリー/文 マーク・ラッフル/イラスト ひびのさほ/訳 岩崎書店

みんなで学ぼう
17 のゴール
イラストブック
SDGs

最近よく耳にする「SDGs」図書館の階段にも17の指標が貼ってありますね。もうお気づきですか？ このままでは、地球丸が沈没しそう。。でも、なんだか難しそうでわからない、そんなあなたにピッタリな一冊です。子どもの本は分かりやすい説明書きやイラストがたくさんあります。子どもだけのものにしておくのはもったいない！ (選んだ司書：ひよろり)

一般教養

『ぼんやり脳！ -上手にボーッとできる人は仕事も人生もうまくいく-』

西多昌規/著 飛鳥新社

ぼんやり脳！

日々変化する時代。効率的で無駄を嫌う時代。頭の中は気づかぬうちに疲れています。まじめな人ほど「うつ病」になるという話もあります。たまには、何も考えずにのんびりして休みましょう。でも脳は、ぼーっとしている時でも、実は頭の中の整理整頓、心の準備などいろいろ考えているようです。脳の仕組みを利用して、頭やからだを休みましょう。 (選んだ司書：松)

児童小説

『ぐうたら王とちょこまか王女』 ミラ=ローベ/作 塩谷太郎/訳 菊池貞雄/画 学研

ぐうたら王と
ちょこまか
王女

ぐうたらな王様が主人公なのですが、本当にぐうたらです。召使いに生活全てのお世話をしてもらっていて、大人なのにひとりで洋服を着るのも一苦勞なくらいぐうたらです。しっかり者の娘ピンピが更生させようとあの手この手を使います。さて、どうなるでしょう？がんばれピンピ！とても楽しいおはなしです。 (選んだ司書：お豆腐)

児童教養

『ヒロシマ消えたかぞく』 指田和/著 鈴木六郎/写真 ポプラ社

ヒロシマ
消えたかぞく

写真は家族の幸せな日常であふれています。でも、昭和20年8月6日以降の写真はありません。ありふれた毎日が、ある日突然無くなってしまふ。戦争が市井の人にもたらす悲劇がここにあります。 (選んだ司書：寒天)

一般小説

『やさしい猫』 中島京子/著 中央公論新社



2021年に読んだ本の中で、一番心が震えた小説です。在留期限が過ぎてしまったスリランカ人青年は、入国管理局に収容され、なんとも理不尽な目にあいます。報道で話題になったウィシュマさんのように…。小説という技法で表現するからこそ、ままたらない悲しみ、制度に対する義憤、大切な人への愛などが真に迫ってくる！芥川賞作家中島京子の意欲作。 (選んだ司書：ナンネール)

一般エッセイ

父の 詫び状

『父の詫び状』 向田邦子／著 文芸春秋

平均視聴率30%超えのドラマ「寺内貴太郎一家」の脚本家。1980年「思い出トランプ」でいきなり直木賞を受賞するも、翌年航空機墜落事故で51歳の若さで急逝。

エッセイはどれもオススメだが、短気だが家族思いの愛すべき父親が描かれたこの本は秀逸。昭和の向田邦子ワールドを堪能して下さい。また、対談で彼女の肉声が聞ける貴重なCDブック版もオススメです。（選んだ司書：わんこ）

一般教養

戦國の 山めぐり

『戦國の山めぐり - 武将たちが散った天嶮の古戦場を往く-』

萩原さちこ／監修 G.B.

かつて城といえば、山の頂に築かれた山城が多く存在し、平らな土地に築かれた平城はその後に築城されてきたとされています。有名な平城は、史跡・名勝として残っているところもありますが、開発の為見ることもできないところが多いです。その点、山城は見学できるところも多く、運動を兼ねながら、地域の歴史探訪をしてみたいと思いませんか？（選んだ司書：匿名希望）

児童小説

ふしぎ 駄菓子屋 銭天堂

『ふしぎ駄菓子屋銭天堂』 廣嶋玲子／著 jyajya／絵 偕成社

表紙のイラスト（店主紅子）とタイトルが気になって手にした本です。幸運な人だけがたどり着ける、駄菓子屋を舞台にした不思議な話が書かれています。店主が子どもだけではなく、大人の悩みにも答えてくれる、ぴったりの駄菓子をすすめてくれます。笑いあり、ドキドキあります。幅広い世代で楽しめます。（選んだ司書：にゃんた）

※2024年6月現在、1～20巻まで刊行済み。

児童教養



『クロスセクション - 輪切り図鑑 有名な18の建物や乗物の内部を見る-』

スティーヴン・ビースティー／画 リチャード・プラット／文 北森俊行／訳 岩波書店

さあ、中をのぞいて見よう！建物や乗り物を輪切りにして内部の構造や様子を描いて解説しています。その精密なイラストに驚かされます。

「中はこんなになっているんだね～」

「あっ、こんなところにトイレ中の人がある・・・」

普段見えないところまでのぞいて見えて、見ごたえたっぷりの1冊です。

（選んだ司書：ああああ）

一般教養

世界 「失敗」 製品図鑑

『世界「失敗」製品図鑑 -「攻めた失敗」20例でわかる成功への近道-』

荒木博行／著 日経BP

人間、誰でも『失敗』します。

それも繰り返すと信用を失うし、取り返しがつかない事態になることも…。

しかし、失敗から学ぶことで成功に繋がることもあることも、また事実です。

この本では、失敗例を企業の製品から取り上げ、なぜ失敗したのか、

そこから何を学んだのかなどを紹介しています。（選んだ司書：A.K）